

単元名	関連する学習指導要領の領域別目標(記号を記入)				
	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
単元目標					
評価規準					
児童生徒に付けたい力	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価対象となる言語活動の目的設定(Task・・・何ができるようにするのか Text・・・話題 内容 Condition・・・支援 Quality・・・英語の質)					
			新出表現		既習表現
評価対象となる言語活動					

領域別目標	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
小学校中学年	ア ゆっくりはっきり話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 イ ゆっくりはっきり話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。		ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりできるようにする。 イ 自分のことや身の回りの物について、動作を伝えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりできるようにする。	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	
小学校高学年	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。 ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。 ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 イ 自分自身について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。	ア 大文字や小文字を活字で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。 イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。
中学校	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して、関心したり読んだしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して、関心したり読んだしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して、関心したり読んだしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

* 目標(◆)と主な活動(◎)は本時の中心活動 * 「目標・評価」の「目標」は、上記の表を見て、ア、イ、ウで表記(2領域以上設定する場合は、重点領域を○で囲む)

* 「目標・評価」の「評価」は、「学校段階別評価規準系統図」(別紙)を見て、「知技」「思判表」「主」で表記(2観点以上設定する場合は、重点観点を○で囲む)

1	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
2	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
3	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
4	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く

5	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
6	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
7	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
8	◆					
	Warm Up					
	導入					
	主な活動					
	評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く